

「大田区学習効果測定」結果の分析

平均正答率を見ると、基礎、活用で目標値を上回っている。

- ・「1年間の動物のようす」では、オオカマキリの1年間の様子を理解できていない児童がいる。
- ・「雨水のゆくえと地面の様子」では、実験操作の誤った個所を指摘できる児童が少ない。

重点課題

〈知識及び技能〉

- ・実験器具の名称や正しい扱い方など、観察・実験の技能の定着化を図る必要がある。
- ・「雨水のゆくえと地面の様子」や「物のあたままり方」について、確かな知識・理解の定着を図ることが課題である。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・具体的な自然の事物や現象にかかわりながら、生活体験を基に予想や仮説を立てる力の育成が課題である。
- ・課題を明確にした上で観察や実験を行い、変化について自ら考えることを意識させることが課題である。
- ・実験や観察を行い、わかったことを自分の言葉でまとめていく力の育成が課題である。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・身のまわりのことから課題を見つけ、進んで調べる方法を考えたり、工夫したりしようとする態度の育成が課題である。特に動物の活動と季節の変化に関心をもつことが課題である。

授業改善策

〈知識及び技能〉

- ・観察・実験が正しく行えるように、器具や実験装置等の使い方について、ICT教材で確認し、繰り返し指導することで習熟を図る。
- ・観察・実験をもとにして、学習内容を確認する時間を十分に取し、知識の定着を図る。
- ・視聴覚教材を活用し、理解を深められるようにする。
- ・学習に関連する資料を教室に掲示し、知識の定着を図る。

〈思考力、判断力、表現力等〉

- ・生活の中の事象を科学的な見方で考えたり、根拠をもって予想を立て、見通しをもって問題を解決したりする展開を繰り返し経験させる。考える時間をしっかりと確保する。
- ・「変える条件」「変えない条件」に着目させて計画的に実験できるようにする。

〈学びに向かう力、人間性等〉

- ・身のまわりの自然現象を日常的に意識させ、疑問をもてるよう学校教育全体の中で働きかける。
- ・実際に見られないものも、ICT1教材など、資料などを効果的に用いて、児童が意欲をもって活動に取り組めるようにする。（デジタル教科書、動画教材等）